第3回防災リレー講座アンケート集計結果

災害時の心理 ーわたしたちは、なぜ逃げない? 備えない? ー

実施日:2025年10月23日

SEEDS Asiaまとめ

登録者・参加者の概要

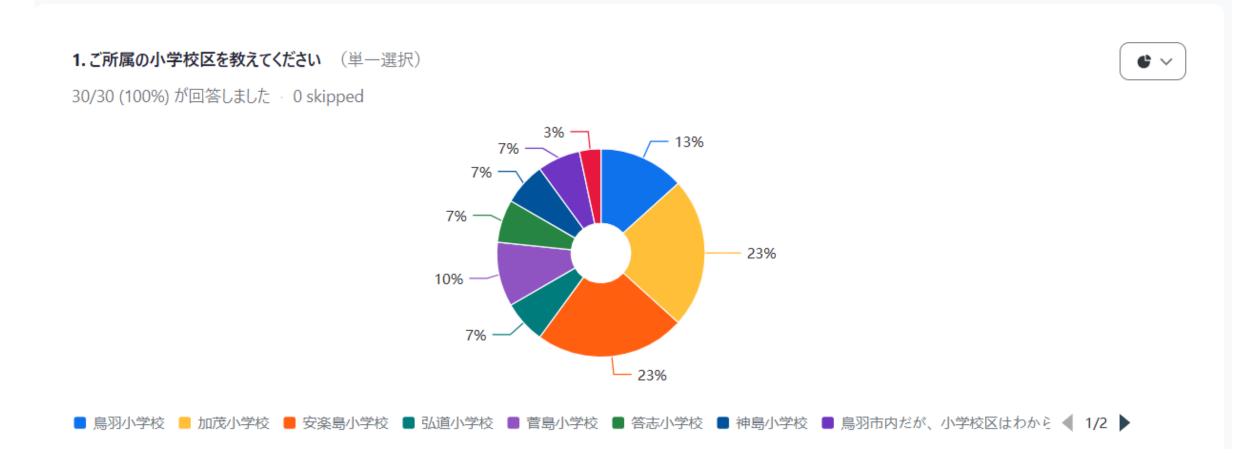
| | 事前:当日 | 参加方法 オンライン : 会場 | 人数 | コメント |
|-----|--------|--------------------|----|-------------------------------|
| 登録者 | 事前申し込み | オンライン | 16 | 事前申し込みの全員がGoogle Formで申し込み |
| | | 会場 | 20 | |
| | | 計 | 36 | |

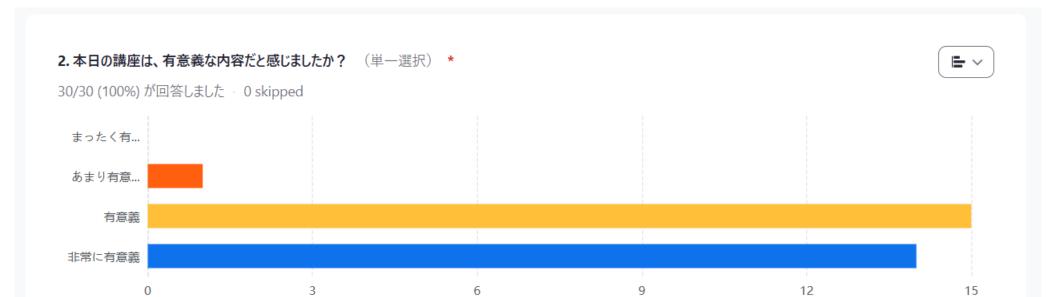
| | 事前:当日 | 参加方法 オンライン:会場 | 人数 | コメント |
|-----|-----------------|------------------|----------|------|
| 参加者 | 当日参加者 登録済参加者 | 会場 オンライン | 18 13 | |
| | | 会場 | 20 | |
| | 参加者計 | | 51 | |

※アンケート回答者30名/参加者51名:回収率58.8%

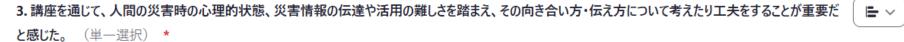
回答方法:二次元コード(23名)+アンケート用紙(7名)

回答者の小学校区

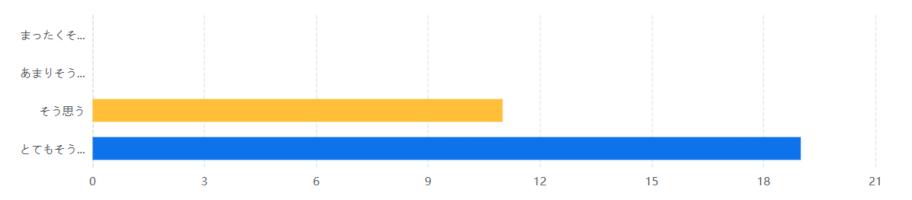




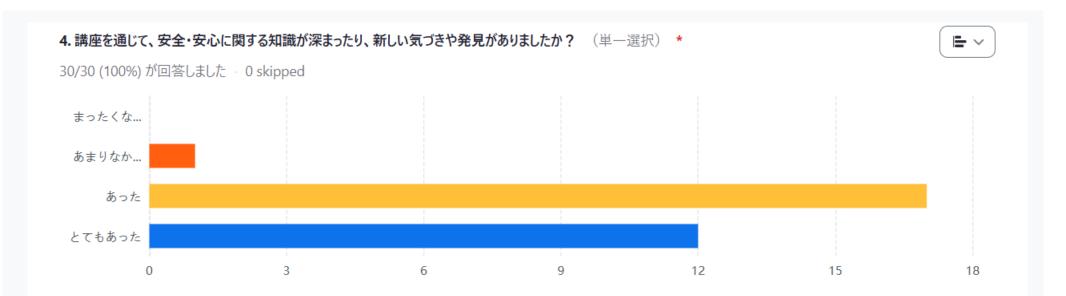
| オプション | 回答 🕏 |
|-------------|-------------|
| 非常に有意義 | 14/30 (47%) |
| 有意義 | 15/30 (50%) |
| あまり有意義ではない | 1/30 (3%) |
| まったく有意義ではない | 0/30 (0%) |



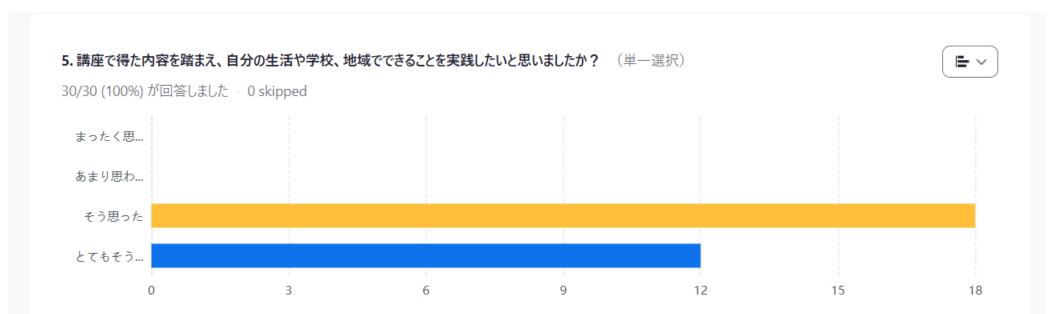
30/30 (100%) が回答しました 0 skipped



| オプション | 回答 🕏 |
|------------|-------------|
| とてもそう思う | 19/30 (63%) |
| そう思う | 11/30 (37%) |
| あまりそう思わない | 0/30 (0%) |
| まったくそう思わない | 0/30 (0%) |



| オプション | 回答 🕏 |
|----------|-------------|
| とてもあった | 12/30 (40%) |
| あった | 17/30 (57%) |
| あまりなかった | 1/30 (3%) |
| まったくなかった | 0/30 (0%) |



| オプション | 回答 🕏 |
|------------|-------------|
| とてもそう思った | 12/30 (40%) |
| そう思った | 18/30 (60%) |
| あまり思わなかった | 0/30 (0%) |
| まったく思わなかった | 0/30 (0%) |

上記の質問で、「とてもそう思った」「そう思った」方にお尋ねします。例えばどのようなことを実践したい、あるいは継続したいと思いましたか。



実践したいこと①「忘れない・伝え続ける」防災教育の継続・定着

- 子どもたちが、震災を覚えておくために、学校としてできるとことして、「〇月〇日に〜があった。」などと、伝えていくことが1番の防災教育のきっかけになると教えていただいたから。これまでもしてきたことではあるが、今後も伝えていこうと思った。
- 災害があった「あの日」のタイミングで子どもたちと災害や避難について伝え、考え、続けたいなと思いました。
- 何回も繰り返すこと
- 津波てんでんこ 根付かせたいです。
- ・ 忘れてしまうという人間の特性を踏まえた上で、継続して災害に対する備えを意識するように呼びかけをしていきたい。
- 繰り返し忘れないように心がける
- 何度も繰り返すこと。
- 月一回の広報誌で何度も何度も呼びかけします!
- 繰り返し伝える事。繰り返し授業や訓練などで子どもたちの防災意識高めることを引き続き進めていきたい。また、 場所ごと、災害ごと、時期ごとに考えるという視点も大切にしていきたいと思いました。
- 万が一の時、避難をする念のためにすることを繰り返すことの大切さがわかりました。

実践したいこと②学校・地域・家庭と連携した「日頃からの対話・訓練」

- 先日、市の防災講演会で、気仙沼市の吉田千春さんのお話をうかがいました。その時にも、「明日が必ず来ると思って生きている」「忘れてしまう」という話をうかがった後なので、とても自分の中ではつながり、整理してもらいました。
- 忘れてしまわないように、子どもたちが自分事として考えられるように、学校での防災教育、避難訓練について、地域の方と一緒に何かできるように考えていきたいと思いました。
- いざという時、一緒に逃げるのではなく、それぞれが災害から逃げ切り、最終的に合流できるような話し合いなどを日頃から定期的に行い、再確認したいと思いました。
- 家族や職場での話し合い。災害バック等の日頃の準備が大切。

実践したいこと③災害時にも使える情報媒体の確認・備えの強化

- 11月1日に防災避難訓練があり、その際に備品倉庫の棚卸しを行います。 今回のお話を伺って、ラジオと その駆動用の電池の棚卸しをしっかりしようと思いました。
- 災害時に、携帯よりTVや新聞の情報収集に努めること、繰り返し訓練すること、誰が呼びかけるかが大事であること。
- 災害時に利用できるものについて、車やスマホを想像していましたが、そうではないこともあると考えるようになったからラジオを準備したいと思いました。
- 携帯端末への依存をなくすことをはっきりと子どもに伝えることができるのは、とても意味のあることです。

心理バイアスを踏まえた行動・訓練

- 時間帯別避難手段の確認
- 人は避難しないという心理を分かった上で、繰り返し訓練等を行なっていきたい。
- 日常から意識した行動をしたい
- まず我が家での意識を高めたい
- 被災したときに流言に惑わされない生徒を育てること、とにかくまずは自分の避難行動を優先すること。
- それぞれで逃げる
- 携帯の充電がフルなだけで安心しない

印象に残ったこと



印象に残ったこと①「人の心理・情報を受け取る心構え・意思決定」に関する気づき

- 人の心理を理解しておくことは、自分自身や周りの人の動きを客観的にとらえ、決断するためにも重要であるということ。避難行動を促すには、小中学生の動きがやはり大切であるということ。
- 「やっぱり忘れるんだな」ということです。自分を守るために必要だということを含めて、知っておくことが大事だなと思いました。
- 正常化バイアスで、先日のカムチャツカの時も気になりながらも大丈夫だろうと思っていたことを思い出した。とてもよかったです。
- 人は情報をうまく受け取れない、というキーワード
- 「津波てんでんこ」という言葉を聞きかじっていたので、東北ではそれが浸透しているものだと思っていたが、実際はそうではなかった。やはりそれが亡くなることにつながっていた等。実際のところ、どうだったのかをいろいろ聞けてよかったです。

印象に残ったこと②備え・日常からの準備/レジリエンス」 の重要性

- 安心しててんでんこで逃げられるように、普段から準備しておくことの大切さ
- 防災意識が大切であり、基本であると理解できた
- 「レジリエンス」とよく言いますが、「レジリエンス」のこともよくわかり、乗り越えていく知恵、過去のことなどから学ぶことを大事にしていきたいと思いました。折に触れて、学ぶ機会を作っていきたいと思いました。「家族同士がお互い逃げてくれているはずを信じ、ばらばらに逃げるという事が必要になる」という話も印象に残りました。家庭でも、あらためて、避難のことなど、話しておき、備えたいとおもいました

印象に残ったこと③ 避難手段・車避難・情報の取り方

- 車避難が全否定のイメージだったのですが、そうではなく、必要に応じて活用すべきであること。 私の母が要介護4なのですが、私の母の移動には遠慮せずに車を活用しようと感じました。
- 車での避難が検討されていることは新鮮でした。
- 災害時はネット情報はあまり役たくことがない。と言うこと
- 災害直後はメディアが使えなくなるという当たり前のことを再認識できた。
- ラジオと新聞が一番!
- 災害時に利用できるかの視点も持っておきたいと思いました

印象に残ったこと: 地域・災害別への備え

- 場所によって違うので、地域で考えることも大切。
- 地震は揺れに備えるだけでなく その後の生活維持についても考えておく必要があるということ また災害時に利用できるか の視点も持っておきたいと思いました

その他(場所・時間・運営など)

①希望する講座や知りたいこと

- 鳥羽市教育委員会から届いた「今どこキーホル ダー」を活用することができれば地震直後の安否確 認に伴う二次被害を防ぐことができると思いました
- 避難所運営
- カムチャツカ

②感謝・応援・継続への期待

- いつもありがとうございます!!
- 回を重ねるごとに、防災の大切さが実感できています。次回も楽しみにしております
- ZOOM受講はとても扱いやすいです。 これからも、ZOOM受講ができる様にお願いします。
- 今回はオンラインも快調でよかったです。

講師の先生、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました!